

ペンネンノルデはいまはいないよ 太陽にできた黒い棘をとりに行ったよ

宮沢賢治

青空文庫

- 一、ペンネンノルデが七つの歳としに太陽にたくさんの黒い棘とげができた。赤、黒い棘、父赤い眼め、ばくち。
- 二、ノルデはそれからまた十二年、森ナスタのなかで昆布こんぶとりをした。
- 三、ノルデは書記しよきになろうと思つてモネラの町へ出かけて行つた。氷羊齒こおりしたの汽車、恋こいび人と、アルネ。
- 四、フウケーボー大博士はかせはあくびといつしよにノルデの筆記帳ひつきちようをすぼりとのみ込んでしまつた。
- 五、噴火ふんかを海へ向けるのはなかなか容易よういなことでない。
化物ばけもの丁場とうじよう、おかしなならの影かげ、岩頸がんけい問答もんどう、大博士発明いのちのめがね。
- 六、さすがのフウケーボー大博士も命いのちからがらにげだした。
恐竜きようりゆう、化石かせきの向こうから。
- 七、ノルデは頭からすっかり灰をかぶつてしまつた。
大博士に疑問ぎもんをいだく。噴火係がかりしよくの職をはがれ、その火山灰ばいの土壤どじようを耕す。部下ぶかみな従したがう。

サンムトりの噴火。ノルデ海岸でつかれてねむる。ナスタ現わる。夢のなかでうたう。
 八、ノルデは野原にいくつも茶いろなトランプのカードをこしらえた。

ノルデ奮起す。水の不足。

九、ノルデがこさえたトランプのカードを、みんなは春は桃いろに夏は青くした。

恋 人アルネとの結婚……夕方。

十、ノルデはみんなの仕事をもつとらしくにしようと考えた。そんなことをしなくってもいいよ。

おれは南の方でやって見せるよ。大雷雨。桜の梢からセントエルモの火。暗のなか。

十一、ノルデは三べん胴上げのまま地べたにべちやんと落とされた。

どうだい。ひどくいたいかい。どう？ あなたひどくいたい？ ノルデつかれてねむる。

十二、ノルデは太陽から黒い棘をとるためにでかけた。

太陽がまたぐらぐらおどりだしたなあ。困るなあ。おい断わっちまえよ。奮起す。おい、火山だなんてまるで別だよ。ちゃんと立派なビルデングになってるんだぜ。

青空文庫情報

底本：「ゼロ弾きのゴージュ」角川文庫、角川書店

1957（昭和32）年11月15日初版発行

1967（昭和42）年4月5日10版発行

1993（平成5）年5月20日改版50版発行

入力：土屋隆

校正：田中敬三

2006年3月22日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ペンネンノルデはいまはないよ 太陽にできた黒い棘をとりに行ったよ

宮沢賢治

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>